



山五小

おひさま通信

ホームページ「山形市立第五小学校」で検索

平成29年度
9月号

山形市立第五小学校
平成29年9月27日
校長 三 森 聡

アイデア・創造・感性あふれる研究作品

学校賞に輝く!

第58回児童生徒理科研究作品展 2017.9.10



名誉ある学校賞の盾

夏休みに手がけた子ども達の自由研究やアイデア溢れる工作が、校内にずらりと飾られています。この中から校内審査を経て下欄の作品を山形市児童生徒理科作品展に応募しました。嬉しいことに名誉ある学校賞「山形ロータリークラブ賞」を受賞しました。学校賞は昨年度に引き続きの受賞となります。

学校代表で表彰式に参加した児童は、昨年度も「働く車クレーンラジコン」の出品で入賞した実績がありますが、今年は家族でも楽しめるものを創ろうと卓球マシンに挑戦したそうです。入賞した作品は、どれも独創的で見る人を楽しませてくれます。下欄の作品をはじめ子ども達の力作を各学年の廊下

脇に展示しておりますので学校においでの際はぜひご覧ください。

児童生徒理科作品展入賞者

- ◆金賞 5年児童 工作「卓球マシン(タマツ)」
- ◆金賞 3年児童 工作「クラネタリウム」
- ◆金賞 1年児童 研究「チリモン水族館」
- ◆入賞 6年児童 工作「ミニリニアモーターカー」
- ◆入賞 4年児童 工作「太陽系のわく星」

※「卓球マシン」と「クラネタリウム」は、県の発明工夫展に出品されます。



創意工夫が見られる作品展

◆こんな思いで挑戦したよ

チリモンとは、チリメンシヤコの中に混じっている稚魚やエビカニなどです。タチウオやイボダイなどいろいろな種類を見つけることができ、水族館にしてみました。

1年児童



3年児童

加茂水族館で見たクラゲの大きな水槽に驚き、自分でも工夫して模型で作れないかと挑戦しました。箱の右側のスイッチ(三段式)を入れるとLEDの光が点くようになりました。



5年児童

電池のスイッチを入れると、モーターが動きパイプからピンポン玉が飛び出す仕組みです。もう一つのスイッチを入れるとアームが動いて首をふり、いろいろな方向に玉を出すことができます。



子ども達で考えあってつくるルールとマナー

五小思草

児童会目標

みんななかよく 元気のでる
五小思草いっぱい学校にしよう

本校には、「五小思草」という子ども達で考えあいつく学校ルール&マナーがあります。
毎年、児童会で自分達の学校生活を振り返り、居心地のいい温かい学校をつくるために、一人一人が意識して取り組める「五小思草」を提案しています。今年度の「五小思草」は右のとおりです。

※五小思草一「江戸しぐさ」をヒントに五小独自のしぐさをつくり、みんなで意識して取り組もうと始めたのが由来です。
「江戸しぐさ」については、「私たちの道徳5・6年」(文科省発行)にも掲載され、日本人の互いに気持ちよく暮らすための知恵が紹介されています。

五小思草 (ごしょうしぐさ)

- 一 元氣よく笑顔であいさつしよう。
- 二 お客さまや先生方に、心をこめてえしゃくしよう。
- 三 だれにでも、思いやりの心をもつてかわろう。
- 四 学年や男女かんげいなく、助け合い協力して取り組もう。

江戸しぐさ

三百年もの長い間、平和が続いた江戸時代に色々な生活習慣が生み出され、これを「江戸しぐさ」と呼び、今に生きる知恵として役立てる動きがあります。江戸しぐさには、人々がたがいに気持ち良く暮らしていくための知恵がこめられています。

※「私たちの道徳5・6年」より掲載

かさかけ
かさをさした人同士が、すれちがうときのしぐさです。相手をぬらさないように、たがいのかさをかたむけます。



かた引き
せまい道で人とすれちがうときのしぐさです。おたがいに右のかたを後ろに引いて、相手にぶつからないようにします。



おつめしぐさ
人が見ていから良いことをするのはなく、だれも見えていなくても、だれかのためになることをする心構えのことです。



こぶしつかせ
複数の人が一緒にすわるときのしぐさです。一人でも多くの人がすわれるように、みんなが少しずつこしを上げて、場所を作ります。



「五小思草あいさつ運動」

地域とつなぐ授業 人・もの・こと



「グラウンドゴルフを学ぼう」
外遊びクラブ
(あこや町名取公園グランドゴルフ会)



「醤油博士になろう」3年
(庄司久仁蔵商店)



「紙飛行機をとばそう」1年
(村特山形校との交流)



「馬見ヶ崎川探究」4年
(地域素材を生かして)